事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和08年06月08日(月)

事務事業	警防活動推進事務	担当課	警防課	担当係	警防企画係	管理番号	52111

総合計画					
大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち	事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務
中項目	1	備えができ安全・安心なまちづくり	根拠法令 個別計画等	消防法 消防組織法	
小項目	2	消防・救急体制の充実			
主要プロジェクト					

事業概要	迅速・的確な消防戦術を確立するため、消防職員に対し消防訓練等を実施することで消防力の向上を図るものである。
目的 ※何のために	複雑多様化する災害様態に対応できる組織体制を構築するため。
対象 ※誰・何を対象に	消防職員
手段 ※どのように	消防訓練を実施する。 各種合同訓練に参加する。
成果 ※何を求めるか	消防力の向上を図ることで、災害による被害を最小限度にとどめる。
執行体制	■職員 □一部委託 □全部委託 □指定管理 □市民ボランティア　□NPO等　□その他(　　)

事務事業を構成する予算事業

区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	9	消防費	1	消防費	1	常備消防費	警防活動推進事務費	328,503

本事業の主な業務

・消耗品購入	・
・備品購入	・
・関越自動車道埼玉県消防連絡協議会負担金の支出	・
・	・
・	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

※令和７年度は決算見込み額です。

単位：円

区分			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画			・消耗品購入費 ・関越自動車埼玉県消防連絡協議会負担金 ・緊援隊関東ブロック合同訓練負担金	・消耗品購入費 ・関越自動車埼玉県消防連絡協議会負担金	・消耗品購入費 ・関越自動車道埼玉県消防連絡協議会負担金	・消耗品購入 ・備品購入 ・関越自動車道埼玉県消防連絡協議会負担金	・消耗品購入 ・備品購入 ・関越自動車道埼玉県消防連絡協議会負担金	
事業費	予算（現額）		133,000	60,000	171,000	385,000	188,000	
	決算額		132,244	46,840	149,576	328,503	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		他特定財源	26,000	12,000	39,000	83,000	40,000	
		一般財源	106,244	34,840	110,576	245,503	148,000	
人件費	従事職員数（人）		0.75	0.65	0.70	0.75	0.70	
	人件費相当試算※		5,902,168	5,206,608	5,755,569	6,357,821	6,165,942	
総事業費試算			6,034,412	5,253,448	5,905,145	6,686,324	6,353,942	

※　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

３．評価指標

区分	指標名		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動指標１	合同訓練の実施回数	目標値	回	6.00	5.00	6.00	6.00	6.00	
		実績値		6.00	5.00	6.00	6.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年間訓練計画に基づき目標値を設定　/　実施回数						
	実績値の算出式								
成果指標１	訓練参加者数	目標値	人						
		実績値		98.00	75.00	86.00	126.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年度により訓練参加者数が増減するため、目標値は設定できない。　/　参加人数						
	実績値の算出式								
成果指標２	高速道路における災害対応率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		実績値		100.00	100.00	100.00	100.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		各種災害に対応するため、目標値は１００％　/　対応数／災害発生数						
	実績値の算出式			３０／３０	３２／３２	４３／４３	２８／２８		
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

４．観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している　B:おおむね達成している　C:達成していない）

（１）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	年間訓練計画で定められていた訓練の全てを実施することで、消防部隊の災害対応能力の強化を図った。 また、昨年は埼玉県及び市関係部局と調整を図りながら訓練計画を作成し、国民保護実動訓練を実施した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	国民保護実動訓練では、深谷市内におけるテロの発生に備え、現場における初動対処能力の向上と関係機関相互の連携強化が図れた。
		評価者	課長補佐兼警防企画係長　藤野　透

（２）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である　B:高める余地あり　C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	各種届出及び関係機関との会議、研修等ではタブレットを活用した電子申請での受付や、資料等のペーパーレス化を図った。
		評価者	補佐兼警防企画係長　藤野　透